



海外から新しい仲間がやってきました

昨年9月にサテライトオフィスとして開設された株式会社ジェニオ四国支店（三好ラボ）に、海外の新しい仲間が増えました。

自社の海外進出を視野に、国立工科大学新卒メンバー2人、IT業界に無くてはならないインド人エンジニア1人を加え、Uターン者1人、Iターン者2人、地元採用1人、海外人材3人の7人体制となりました。

代表の米田さんは「今後はITセミナーやプログラミング教室を三好市で開催するなど、都市部を中心にIT事業に長年携わる自社の強みを活かし、地域に貢献していきたい」と話されました。また、さらなる事業の拡大に向け、UIターン者や地元採用について今後も積極的に取り組んで行くとのことでした。



栄えある交通栄養章 緑十字金賞を受章

今年1月19日、第58回交通安全国民運動中央大会において、井内愛輪クラブ阿佐喜久夫会長が交通栄養章緑十字金章を受賞されました。

緑十字金章は、抜群の功績等があった交通安全功労者に対し贈られる最高位の栄養にあたる交通章で、今年全国で銀章と銅章を合わせ、146名の方が受賞されました。

5月27日には、阿佐会長のご功績と栄誉を記念し井川町井内地区で祝賀会が行われ、愛輪クラブ関係者などが受章を祝いました。阿佐会長は、昭和34年に井内愛輪クラブに入会以来、率先して井内地区の道路環境の整備や通学路などにおいて監視活動に従事し交通弱者の保護に努められてきました。



おもしろいこと、珍しいもの、耳よりな情報など、どんなことでもいいのでお知らせください。
三好市役所 秘書人事課
☎72-7646

新緑の漆川街道を往く

好天に恵まれた5月27日、漆川街道を歩くイベントがみよし山歩会の主催で開催されました。

漆川街道は、池田町ヤマダ地区と漆川地区を結ぶ約6キロの山道で、昭和中期頃までは葉タバコや木炭の搬出、日用品の買い出しなど、生活道として多くの住民が行き交っていました。その後、道路網の整備により利用されなくなり、長い間通行不能になっていましたが、みよし山歩会の会員らが街道を修復し、新しく健康ウォーク道として整備しました。

発着点となる三好市役所に集合した50人の参加者は、往時を偲びながら約6時間かけて新緑の漆川街道を歩きました。



見せましょう 三好市の力を 稽古で磨いた技をぶつけ合う 会場内は「あいがいっぱい」



チャレンジデーは、毎年5月の最終水曜に、15分以上運動をした人の参加率を、人口規模に近い市区町村で競い合うイベントです。今年5月30日に青森県藤崎町と対戦しました。

三好市内は朝からあいにくの雨模様でしたが、老若男女が様々なスポーツで体を動かし、1万7300人がチャレンジデーに参加しました。

三好市の参加率は64.4%と、過去と比べ高い水準でしたが、対戦相手の藤崎町がさらに高い参加率70.2%を記録し、惜しくも敗戦となりました。



6月3日、みよし柔道協会の主催による第12回みよし柔道大会が井川武道館で開催されました。

団体戦の小学校低学年の部には5チーム、高学年の部には7チーム、中学生の部には5チームが参加し、個人戦には幼稚園児から中学生まで60人が参加しました。

三好郡市から集まった選手たちは、応援に駆け付けた選手の家族などの声援が飛び交う中、稽古で磨き上げた技を互いにつけあい、熱い攻防を繰り広げました。



池田博愛会などが主催している第39回博愛まつりが、5月27日に箸蔵近隣公園周辺で開催されました。

「あいがいっぱい」をテーマに開催された今年の博愛まつりのステージでは、箸蔵小学校鼓笛隊による演奏やバルーンパフォーマー「バルーンボックス」の歌や踊りなどが披露され、会場を盛り上げました。

会場内にはフリーマーケットやバザー、子どもが楽しめるアトラクションなどがたくさん出店され、会場は、多くの家族連れらで終日賑わいました。



ウェイクボード世界選手権をPR

5月4日、池田球場で四国アイランドリーグPLUSの公式試合が開催されました。

試合前のセレモニーでは、ウェイクボードに取り組むイケダコイレブンたちが「ウェイクボード世界選手権をぜひ見に来てほしい」と開催をPRしました。始球式はイケダコイレブンを代表し森脇樹奈さんがつとめ、見事な投球にスタンドから大きな拍手が送られました。

試合は徳島インディゴソックスが11対12で高知ファイティングドッグスに逆転負けしましたが、好天の下、大人も子どももゴールデンウィークを満喫しました。



雨のにし阿波を疾走

にし阿波の雄大な自然を駆け巡るサイクルイベント「第9回自転車王国とくしま ツール・ド・にし阿波」が5月13日に池田湖水際公園を発着点で開催され、県内外から集まった自転車愛好家688人が参加しました。

今年の大会は残念ながら雨模様となりましたが、参加者たちは、祖谷溪谷や大歩危小歩危の景観を存分に満喫できる55キロのコースや落合集落を展望できる94キロのコース、にし阿波の高峰を横断する135キロのコースなどの3つのコースに分かれ、時折強く打ち付ける雨の中を懸命にペダルを漕ぎ、完走を目指しました。